

令和2年8月27日



全国健康保険協会 沖縄支部

協会けんぽ

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。平成20年に政府管掌健康保険を引き継いで設立されました。全国で約4,000万人、うち沖縄支部では約59万人が加入しています。

## 「新型コロナウイルス感染症に関する事業所アンケート」の 実施及び集計結果について

協会けんぽ沖縄支部では、事業所における新型コロナウイルス感染症対策にかかる実態調査を目的としたアンケートを実施いたしました。アンケートにおいては、新型コロナウイルス感染症に対応した従業員の健康管理や、事業所の取り組み状況、ご意見等についてお伺いいたしました。

### 【調査の概要】

#### 《調査対象》

令和2年6月1日時点の福寿うちな～健康宣言事業所(229事業所)、健康保険委員登録事業所(2,044事業所)及び福寿うちな～健康宣言と健康保険委員登録の勧奨を実施した事業所(1,746事業所)の合計4,019事業所

#### 《調査時期》

令和2年6月3日～令和2年6月30日

#### 《調査方法》

新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載したニュースレターと併せてアンケートを郵送し、FAXにより回収

#### 《回収状況》

回収件数 438事業所(回収率10.9%)

### 【調査結果】

新型コロナウイルス感染症により、83.5%の事業所が業務や生活に影響がある、または影響が出る可能性があると回答。また、感染症に関する情報収集、従業員への注意喚起、消毒液の設置、マスク等の配布を9割以上の事業所が取り組んでいると回答しており、事業所において基本的な感染症対策は取り組んでいる状況ではあるが、一方で、在宅勤務・テレワーク推奨は39.5%、時差出勤・業務時間の短縮は31.7%に留まっており、新しい働き方様式については普及が進んでいないことがうかがえました。

新型コロナウイルス感染症の対応についての懸念や困りごとについては、従業員への感染について64.2%と最も多く、次いで、従業員のストレス、健康状態の悪化が41.1%となっています。

協会けんぽに望む支援(サービス)については新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者が出た場合の対応に関する情報提供が74.0%と最も高く、協会けんぽに対しても新型コロナウイルス感染症に対する具体的な支援や対応を望む声が多く上がっていました。

本アンケート結果によるご意見・ご要望を踏まえて、今後の保健事業を実施してまいります。

また、協会けんぽ沖縄支部といたしましては、関係機関と連携しながら新型コロナウイルス感染症対策について、今後取り組みを行っていく予定です。

#### 【お問い合わせ先】

〒900-8512 那覇市旭町114-4 おきでんビル8階

全国健康保険協会沖縄支部 担当: 企画総務グループ 平良

TEL:098-951-2011 FAX:098-951-2295

# 「新型コロナウイルス感染症に関する事業所アンケート」集計結果

令和2年6月3日～令和2年6月30日に実施した「新型コロナウイルス感染症に関する事業所アンケート」につきましては、多くの事業所様にご協力いただきありがとうございました。

皆さまからご回答いただいたアンケートの集計結果を、下記のとおり公表いたします。

本アンケート結果による事業所の皆さまからのご意見・ご要望を踏まえて、今後の保健事業を実施してまいります。

## I. 調査の概要

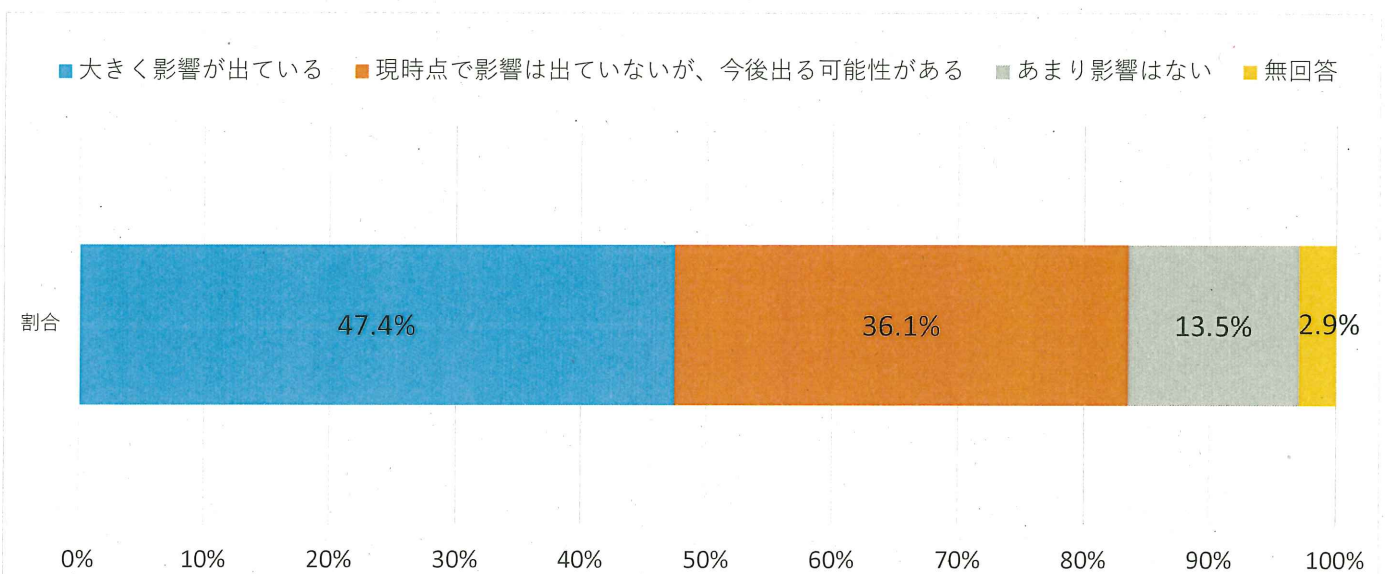
- 調査対象：令和2年6月1日時点の福寿うちな～健康宣言事業所（229事業所）および健康保険委員登録事業所（2,044事業所）と、福寿うちな～健康宣言と健康保険委員登録の勧奨を実施した事業所（1,746事業所）  
合計4,019事業所
- 調査時期：令和2年6月3日～令和2年6月30日
- 調査方法：新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載したニュースレターと併せて調査票を郵送し、FAXにより回収
- 回収状況：回収件数438事業所（回収率10.9%）

## II. 調査結果

### 1. 業務や生活に新型コロナウイルスの影響は出ていますか。（1つ選ぶ）

- 「大きく影響が出ている」が47.4%、「現時点で影響はでていないが、今後出る可能性がある」が36.1%、「影響はない」が13.5%、無回答が2.9%で、83.5%の事業所が新型コロナウイルス感染症により業務や生活に影響がある、または影響が出る可能性があると回答。

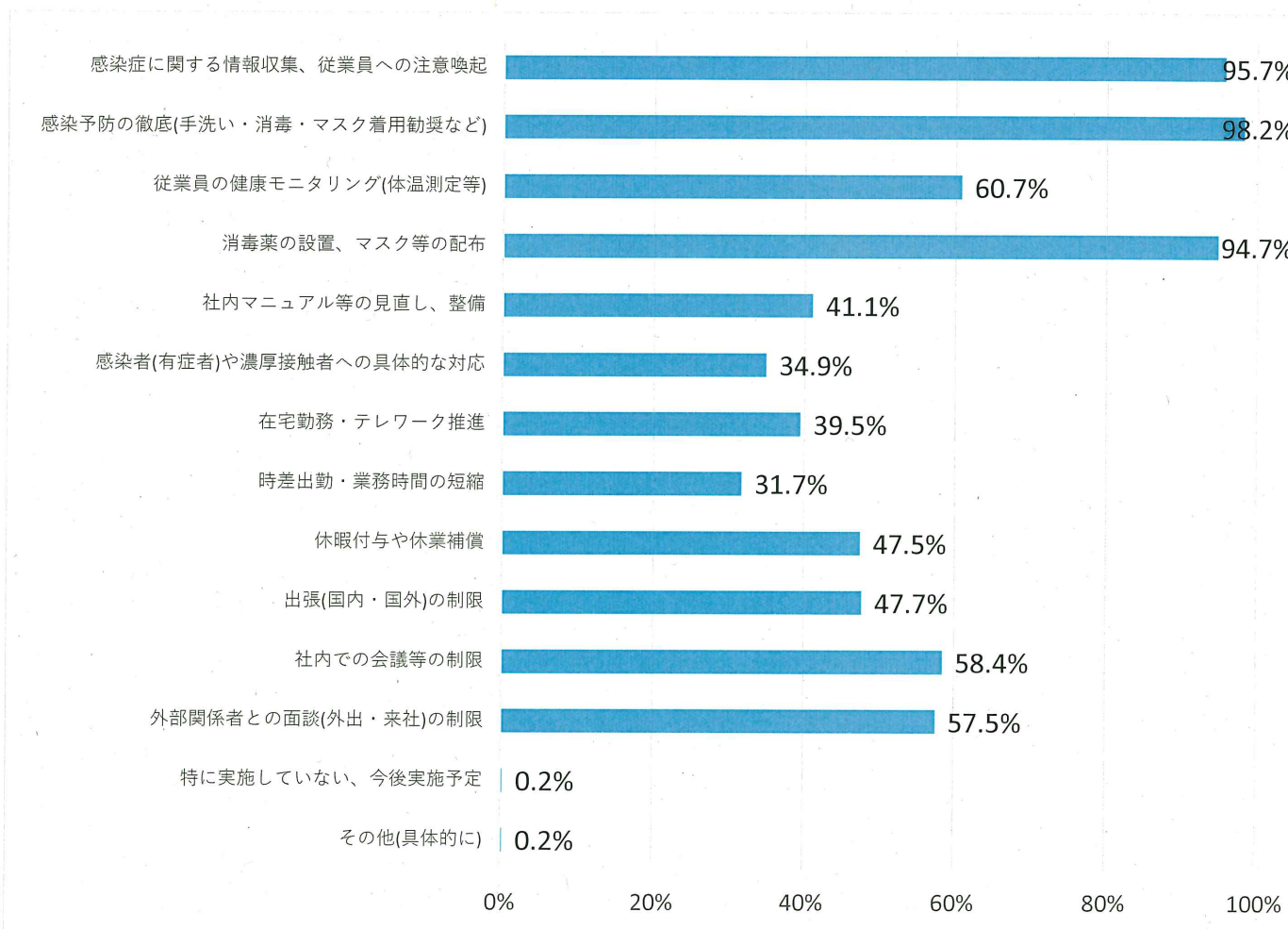
### 業務や生活への影響



2.現在までに取り組まれた新型コロナウイルスの対応について教えてください。(複数回答可)

➤「感染症に関する情報収集、従業員への注意喚起」、「感染症予防の徹底」、「消毒薬の設置、マスク等の配布」については、9割以上の事業所が取り組んでいると回答しており、基本的な感染症対策は取り組んでいる状況。一方で、「在宅勤務・テレワーク推進」は39.5%（173件）、「時差出勤・業務時間の短縮」は31.7%（139件）に留まっており、「新しい働き方様式」については普及が進んでないことがうかがえる。

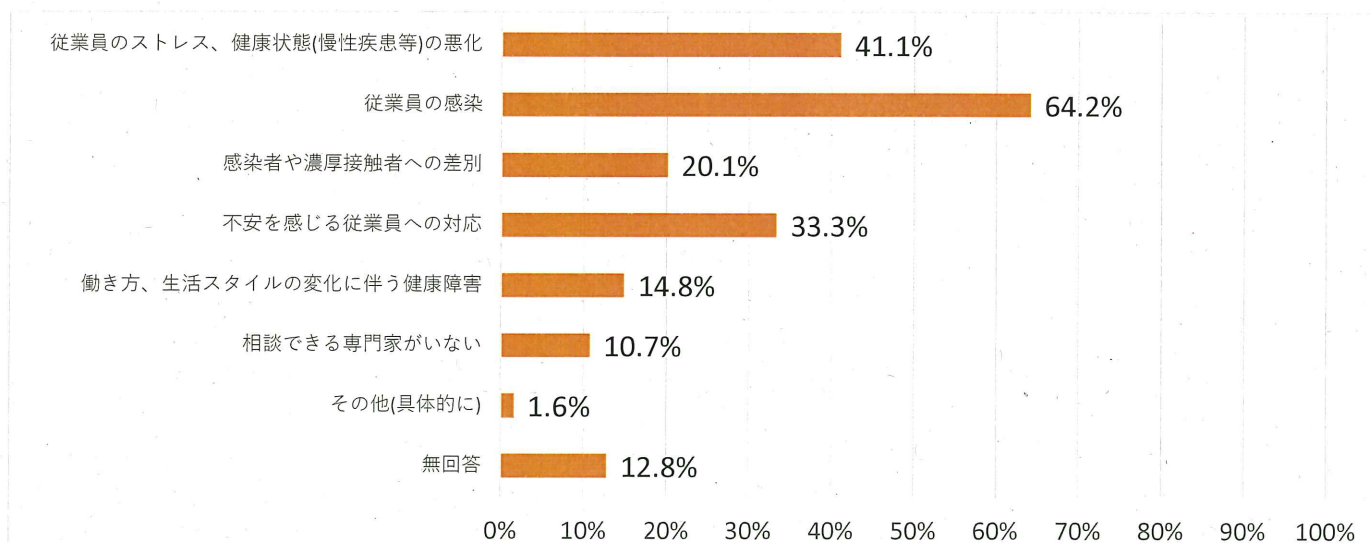
### 感染症予防対策の取り組み



3.新型コロナウイルスの対応についての懸念や困りごとがあれば教えてください。(複数回答可)

➤「従業員の感染」についてが64.2%（281件）で最も多く、次いで「従業員のストレス、健康状態の悪化」が41.1%（180件）、「不安を感じる従業員への対応」が33.3%（146件）となっている。自由記載欄では、マスクや消毒薬などの物資不足への不安に関する記載や、従業員の感染だけではなく、従業員が濃厚接触者となった場合の対応、勤務体制への影響等についても懸念の声が上がっていた。

## コロナ対応への懸念や困りごと



### 4.協会けんぽに望む支援(サービス)について、教えてください。(複数回答可)

▶ 「新型コロナウイルスの陽性者や濃厚接触者が出た場合の対応に関する情報提供」を求める回答が74.0% (324件) と最も多く、次いで「感染症対策に関する情報提供および具体的な支援」が63.5% (278件)、「従業員の健康確保のための情報提供および具体的な支援」が43.2% (189件) となっている。自由記載欄では、新型コロナウイルス感染症問題がさらに長期化した場合の対応として、メンタルの不調や生活習慣病の発症・悪化などの健康二次被害を予防するための個別対応を求める声が多くみられた。新しい生活様式を求められる中で、健康相談・特定保健指導においてもICTを活用するなどのサービス拡充への期待や要望の声も上がっていた。

## 協会けんぽに望む支援 (サービス)

